

校長室
だより

思い合いの心で

おみっ子

みんなが笑顔!

通信

令和2年4月10日
麻績小学校
No.2

一学期始業式 一校長の話抜粋一

「根っこを太く、育てよう」

今、こうしてみなさんの顔を見て
いると、進級して少し成長した自
分を感じながら、今年ももっとも
っと頑張っ成長しようという
気持ちがみなぎっているように
感じられます。いいですね。



さて、今年は春の訪れが早く、

学校の桜も咲き始めました。何十年もかけて太くなった幹、しっかり伸びた
枝、そして小さな枝先に咲く花はとてもきれいです。

相田みつをさんという方がこんな詩を書いています。

小学校の六年間は、人が生きていくための、木で
言うとなんか太く、育てるととても大事なときです。

「自分」という「木」を大きく育てるには、人か
ら見える「花」や「枝」や「幹」といった目に見え

花を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根は見えねんだなあ

る部分よりも、目に見えないけれど、「花」や「枝」や「幹」のすべてを支
えている「根」である「こころ」の部分大切に育てなければなりません。
その「こころ」の部分というのは「思いやり」とか「感謝」です。多くの友
達や先生方、地域の方々とかかわりながら、人として生きていく上でとても
大切だけれど、見えにくい「こころ」の部分、ゆっくりでもいいですから、
じっくり太らせてください。

そして、みなさん一人ひとりが持っている素晴らしい宝物、「自分らしさ」です。皆さん一人一人が自分らしさを思う存分発揮できる麻績小学校でありたいと心から願っています。

最後に、新型コロナウイルス感染症についての話をします。

今日、こうして新学期をスタートすることができましたが、世界中、日本でも感染は拡大しています。3月のようにいつ学校に来られなくなるかわかりません。そうならないためには皆さんや先生たちが病気にならないようにすることがまず一番大事です。「狭いところにたくさんの人が集まらない」「常に空気の入れ替えをする」「周りの人と離れた距離をとる」という三つのことに気を付けて生活します。そのために、勉強や遊び、学校生活のいろいろなことができないことが出てきてしまいます。皆さんにとっても不自由な思いをさせることになってしまいますが、皆さんの命や健康より大切なものはありません。先生の言うことをよく聞いて我慢し協力をお願いします。先生たちも、感染を防ぐことを一生懸命考えていきます。また、いつだれが感染してしまうかわかりません。そのとき、コロナウイルスのことで友達の悪口を言ったり、仲間外れにしたりして、友達を傷つけるような言葉や態度は絶対にしないでください。

以上で始業式の話が終わります。

